

現代文 B

検印 校長【 前三盛 英明 】 教頭【 嘉数 修 】

国語	単位数	2単位	学科・学年 コース・組	普通科 2年 特進コース 5組
使用教書	高等学校「標準現代文B」 第一学習社			
副教材	「新国語便覧」 (第一学習社)			

1. 学習の到達目標

- | |
|---|
| ① 国語を適切に表現し、的確に理解する力を身に付ける |
| ② 伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨く |
| ③ 言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる |
| ④ 近代以降の様々な文章に触れ、ものの見方・感じ方・考え方を深める |

2. 学習の計画

学 期	月	教材名	学習の目標	評価の観点				配当 時間
				意欲 態度	話す 聞く	読む・ 書く	知識 理解	
一 学 期	四	・ガイダンス ・基礎学習 ・「私」という「自分」	・基本的な漢字や語彙、文法事項の復習をする。 ・随想に触れ、筆者の考え方を学び、自己の思考・視野を広げる。	○		○	○	3
	五	・そこにひとつの席が	・近代詩、現代詩に親しむ。詩の鑑賞の仕方、技法について学ぶ。	○		○	○	2
		・永訣の朝 一学期中間考査	想像力を豊かにし、言葉に対する感性を磨く。	○		○	○	3
		・意見文を書く	・根拠を明確にし、意見文を書き、発表する。	○		○	○	3
	六	・調律師のるみ子さん	・現代小説を読み、人物や心情の描写を的確にとらえ、表現を味わう。	○		○	○	4
		・新しい地球観 一学期期末考査	・評論に触れ、筆者の主張を読み取りながら、思考力・表現力について考える。	○	○	○	○	4
	七	・創作の楽しみ・短歌と俳句	・近現代の短歌や俳句の形式、技法、鑑賞の仕方を学ぶ。自ら創作する力、表現力を身に付ける。	○		○	○	5
八 九	・個人研究と科学	・評論の構成・展開・要旨などを的確にとらえる。	○		○	○	4	
	・相棒	・登場人物の関係や心情の変化を理解し、現代小説の面白さを味わう。	○		○	○	4	

期	十	・情けは人の… 二学期中間考査	・評論の読み方を学ぶ。自らの言語生活を考える。	○		○	○	4
	十一	・「マジ？」	・文章の構成・展開・要旨などを的確にとらえる	○		○	○	4
	十二	・ナイン 二学期期末考査	・小説に描かれたさまざまな愛や葛藤の姿から、心の触れ合いについて考える。	○		○	○	6
		・イリュージョンなしに世界は見えない	・評論の構成・展開・要旨などを的確にとらえる。	○		○	○	4
三 学	一	・こころ	・近代の小説を読解、鑑賞する力を身に付ける。小説世界に触れることで自己の見方、考え方、人生について考える契機とする。	○		○	○	8
	二	・僕らの時代のメディア・リテラシー 学年末考査	・筆者の考え方に触れ、日本と西欧の自然観の違いについて考える。	○		○	○	5
	三	・注連縄 ・東京タワー	・実用的な文章について学び、日常の表現活動に役立てる。	○		○	○	7

3. 課題、提出物

- ・授業時の課題プリントやノートの提出をしてもらいます。漢字等の宿題を課すこともあります。
- ・校内弁論大会に向けて、1200～1400字程度の意見文を書き、発表してもらいます。
- ・定期考査、または臨時考査に漢字の学習ノートから漢字のテストをします。
- ・夏休みの課題として、体験記・創作文・読書感想文のいずれかを提出してもらいます。

4. 評価基準・評価方法

評価は次の5つの観点から行います。

関心・意欲・態度	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	知識・理解
国語や言語文化に関心を持ち、尊重してその向上を図り、すすんで表現や理解し、伝え合おうとしているか。	自分の考えをまとめたり、目的や場面に応じて筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりすることができるか。	自分の考えをまとめたり、相手や目的に応じて、筋道を立てて適切に文章を書いているか。	自分の考えを深めながら様々な文章を的確に読み取り、読書に親しんでいるか。	表現と知識に役立てるため、音声・文法・表記・語彙・漢字などの理解、知識を身に付けているか。

上記の観点をふまえ、

- ・授業中の学習の様子（学習活動への参加意欲、発表や討論の様子など）
 - ・学習プリントやノート、課題の提出物
 - ・定期考査、臨時考査
 - ・夏休みの作文や感想文
- 等を加味し、総合的に評価します。